

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年3月2日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年3月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(B)空冷装置冷却水配管の凍結防止ヒータNo.3回路の絶縁抵抗低下について】 凍結防止ヒータ回路の絶縁抵抗低下およびヒータ表示灯の破損を確認。 表示灯の破損部から雨水が浸入したことにより、ヒータ回路の絶縁抵抗が低下したものと推定。 点検停止中のため、系統に影響なし。 4月のヒータ点検に合わせて、ヒータ表示灯を交換予定。</p>	GIII
2	<p>【サブドレン浄化水攪拌ポンプ(A)軸受の漏えいについて】 サブドレン浄化水攪拌ポンプ(A)運転時、軸受の漏えいを確認。 にじみ程度の漏えいのため、経過観察し処置を検討。</p>	GIII
3	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の灰投入コンベア(A)(B)軸破損について】 灰投入コンベア(B)の軸とフランジの溶接部の破損を確認。 灰投入コンベア(A)についても確認したところ、同様に軸とフランジの溶接部に破損を確認。 点検停止中のため、系統に影響なし。 今後、修理予定。</p>	GIII